

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議  
副学長等と全代会構成員との懇談会

## 全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議

### 副学長等と全代会構成員との懇談会

日時：令和3年12月1日（水）18時30分より20時00分

場所：（対面）本部棟8階特別会議室

（オンライン）Microsoft Teams

#### 第1部

- 副学長（学生担当）・全代会議長挨拶
- 令和三年度全代会活動中間報告

#### 第2部

- 意見交換会  
話題「①福利厚生事業（食堂、書籍等）について」  
「②コロナ禍後の授業形態について」
- 筑波大学総合報告書2021 説明
- 学生生活支援室長挨拶

#### 目次

- 全代会の組織体制 P. 2
- 活動内容一覧 P. 4
- 会議報告 P. 5
- 全代会活動中間報告
  - ・議長団 P. 6
  - ・総務委員会（事務） P. 8
  - ・総務委員会（情報） P. 9
  - ・学内行事委員会 P. 10
  - ・教育環境委員会 P. 11
  - ・生活環境委員会 P. 13
  - ・調査委員会 P. 14
  - ・広報委員会 P. 16
  - ・新入生歓迎特別委員会 P. 17
- 連絡先 P. 19

## 全代会の組織体制

全代会（正式名称、全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議）は、全学にわたる学生生活および教育に関する事項などについて討議し、意見をまとめるための公的學生組織である。各クラス代表者会議から選出された学生によって構成される。以下に、全代会の各組織について記載する。

### ■議長団

議長：森本 ひのき（知識情報・図書館学類2年）

副議長：佐藤 翔哉（物理学類2年）

菟場 広翔（知識情報・図書館学類2年）

全代会の統括や会議の議事進行を担うとともに、全代会でまとめた意見を担当副学長に報告したり、学生生活課と大学運営について情報を共有したりする。全学の学生を代表して意見を述べることができる。

### ■常任委員会

全代会には、審議の効率を上げるため、より専門的な活動を行う6つの常任委員会が設置されている。それぞれの委員会については以下に記載する。

#### 総務委員会

委員長：荒金 志紀（社会工学類2年）

議事進行の補佐および全代会運営に係る庶務を担当する。会議準備や議事録の作成、物品管理を主とする。

#### 情報部門

部門長：高尾 創介（情報科学類2年）

全代会ホームページの開発やPCを中心とした全代会室の環境整備を行う。

#### 学内行事委員会

委員長：田中 萌鈴（物理学類2年）

学園祭実行委員会、スポーツ・デー学生委員会など下部組織の監査・監督を担当する。外部組織との連携・協力を行う。

#### 教育環境委員会

委員長：渡邊 由貴（国際総合学類2年）

学生の立場から、全学的な教育環境に関する問題の検討を担当する。集めた学生の意見を分析し、大学側に伝える。

#### 生活環境委員会

委員長：國分 潤（工学システム学類2年）

学生の生活環境に関する問題の検討を担当する。学生宿舎、学内の施設や交通、食堂や学生宿舎の浴場など、学内の福利厚生サービスに関する問題を専門に扱う。

#### 調査委員会

委員長：笠嶋 梨緒（地球学類2年）

生活環境委員会や教育環境委員会等と協力し、学内の問題発見と調査を担当する。

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議  
副学長等と全代会構成員との懇談会

## 広報委員会

**委員長：佐藤 翔哉（物理学類2年）**

全代会の活動の広報と、学生に有益な情報の発信を担当する。主として、全代会の広報誌『Campus』の編集を担う編集部と、ポスターなど広報物の制作を担う制作部に分かれている。

## 編集部

**編集部長：佐藤 翔哉（物理学類2年）**

全代会の広報誌『Campus』の編集・発行を行う。

## 制作部

**制作部長：佐藤 陽亮（数学類2年）**

視覚に訴える広報物や他委員会から依頼されたポスターなどの制作を行う。

## ■特別委員会

全代会では、常任委員会の管轄に属さない問題、または臨時で取り組む必要のある問題を扱うため、特別委員会を設置することができる。現在発足している委員会について、以下に記載する。

## 新入生歓迎特別委員会

**委員長：三好 真生（日本語・日本文化学類2年）**

新入生歓迎時期特有の諸問題について、各学類・専門学群・学域群単位での解決が難しいものについても対処する。

## 全代会 活動内容一覧

### 4月

1日 『Campus』223号発行  
14日, 15日 全代会説明会 (オンライン)

### 5月

5日 全代会研修会  
12日 第一回本会議 (オンライン)

### 6月

2日 第二回本会議 (オンライン)  
9日 学長と全代会構成員との茶話会

### 7月

14日 留学生との交流会

### 9月

6日 第三回本会議  
7日 クラス代表者会議議長懇談会

### 10月

1日 『Campus』224号発行  
4日 第一回意見聴取会 (オンライン)  
13日 第四回本会議 (オンライン)

### 12月

1日 副学長等と全代会構成員との懇談会  
8日 第五回本会議 (予定)

## 会議報告

全代会は、構成員の過半数の出席により成立し、意見聴取や集約を行う。本資料では、本会議にて構成員の過半数の承認を得た議題を「可決」として記載している。なお、2021年度の座長団の総数は78名であるため、過半数は40名となる。

今年度上半期の会議報告を以下に記す。

### 5月12日 第一回本会議

#### 議題『議長団選挙』

議長に森本ひのき（知識情報・図書館学類2年）が立候補し、選出された。

副議長に佐藤翔哉（物理学類2年）と菟場広翔（知識情報・図書館学類2年）が立候補し、両者とも選出された。

### 6月12日 第二回本会議

#### 議題①『令和四年度学園祭開催に関する要請』

学内行事委員会より、令和四年度の学園祭開催に関する要請が提出された。

審議の結果、賛成多数で可決された。

#### 議題②『新入生歓迎特別委員会設立について』

議長団より、新入生歓迎特別委員会設立の報告が提出された。

審議の結果、賛成多数で可決された。

### 8月6日 第三回本会議

#### 議題①

#### 『教育課程編成支援システムに依拠しないシラバス公開に対する要望について』

議長団より、教育課程編集支援システムに依拠しないシラバス公開に対する要望が提出された。

審議の結果、賛成多数で可決された。

#### 議題②『アレルギー表記について』

生活環境委員会より、アレルギー表記についての要望が提出された。

審議の結果、賛成多数で可決された。

### 10月4日 第一回意見聴取会

#### 議題『令和三年度学園祭実行計画書追加提出分に関する要請』

学内行事委員会より、令和三年度の学園祭実行計画書追加提出分と、それに関する要請が提出され、審議された。

### 10月13日 第四回本会議

#### 議題『令和三年度学園祭実行計画書追加提出分に関する要請』

第一回意見聴取会に引き続き審議を行い、全会一致で可決された。

## 全代会活動中間報告 議長団

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議  
議長 森本ひのき（知識情報・図書館学類2年）

### 2021年度上半期総評

議長団は、学長と全代会構成員との懇談会において活動目標として掲げた、「学生の意見をより多く取り入れる窓口設置」「各学類等のクラス代表者会議との連携強化」を目標として運営を行ってきた。今年度議長団発足から7か月活動を展開した中で、現状と課題を整理する。

1点目の「学生の意見をより多く取り入れる窓口設置」について、この7か月間で概ね順調に進んでいる。常時学生の意見を受け付けている教育生活環境調査を、学期の最初と最後に定期的にクラス代表者会議議長を通じて配布することで、その学期中に寄せられた学生の意見を吸い上げることができている。また、国際交流支援室長の櫻井先生の取り計らいにより開催された全代会と留学生との交流会によって、留学生特に英語プログラムの学生とのつながりができた。それにより留学生特有の問題を把握し解決に動き出すなど、今まで取り入れることができていなかった意見を取り込めるようになった。このように、学生の意見をより多く取り入れる窓口設置については、満足に行えている。一方で、窓口を設置することはできたものの、そこから学生の意見を多く取り入れることには至っていない。これは、窓口に対する広報不足や、全代会という組織に対する学生からの関心を集められていないこと、アンケート等の英語表記対応が満足に行えておらず留学生に対して優しくないアンケートがあることなどが原因として挙げられる。下半期ではこれらの課題を解決していけるよう活動していく所存である。

2点目の「各学類等のクラス代表者会議との連携強化」について、この7か月間で概ね順調に進んでいる。8月に開催したクラス代表者会議議長懇談会では、新歓期における各学類等の選出状況やそれぞれの学類等で実施していることなどについて、共有することができた。中には、コロナ禍によって引継ぎが途絶えた新歓事業を復活させる動きが出たり、クラス代表者会議議長懇談会以降も交流を保とうとする動きが出たりした。また、クラス代表者会議議長懇談会に先立って行った座長研修会では、各学類の座長と一対一で懇談を行い、各クラス代表者会議の現在の状況について把握することができた。この座長研修会は、クラス連絡会が行われていない学類に必要なサポートを行ったり、クラス代表者会議が学生に連絡するためのツールによって広報の方法を変えたりするなど、クラス代表者会議ごとのアプローチ方法を模索することに繋がった。以上のように、各学類等の動向を把握でき、対応の方法を見つけることができたこと、そしてクラス代表者会議議長同士の交流の場を作るという実績を作ったことにより「各学類等のクラス代表者会議との連携強化」は概ね順調に進んでいるといえる。

## 今後の展望

### 1. 活動目標について

主に総評で触れた通りである。全代会が設置した意見を集める窓口の広報や学生の興味を惹くような活動を行っていく。そのために、学内にポスターやラックを設置する予定である。その他にも効果的な広報や活動ができるよう模索する。また、アンケートに英語表記を加えることを推奨するなど、留学生にも回答しやすいものを作成する。

### 2. クラス代表者会議議長懇談会の実施

8月に行ったクラス代表者会議議長懇談会が概ね好評であったこと、また、下半期には代替わりや総合学域群生の受け入れなどクラス代表者会議議長に検討してもらう必要のある出来事が起こることを受け、2月から3月にかけてクラス代表者会議議長懇談会を再度実施する。議題としては、代替わりに伴う引継ぎや各学生組織構成員の選出や、来年度各学類に配属される総合学域群生への対応について情報を共有し合う予定である。

### 3. 留学生に係る諸課題への対応

7月に行われた留学生と全代会構成員との交流会において提起された、留学生へのサークル等情報発信の不足に関する問題に対応する。具体的には、課外活動団体と協力し、留学生が参加しやすいサークル等をピックアップし課外活動団体が発行しているパンフレットに掲載したり、パンフレットや新歓webといったサークル等情報ツールに英語表記を記載したりする。それに加えて、秋学期入学者に課外活動団体が発行しているパンフレットが配布されておらず、サークル等に関する情報誌が不十分であることに対応する。具体的には、課外活動団体が発行しているパンフレットと同様のものを掲載したwebページに関するフライヤーを作成し、秋学期入学者に配布することを考えている。

また、上記以外の課題を把握したり解決するよう動いたりするために、留学生とともに全代会室にて、学生生活についての意見交換を行う場を設けている。最終的には、留学生と一緒に諸課題へ対応することを念頭においている。現在は学類の留学生と学生生活について議論を交わしているが、今後は英語プログラムの学生とも意見交換をしていく予定である。

## 総務委員会（事務）

委員長 荒金 志紀（社会工学類2年）

### 2021年上半期総評

総務委員会は、全代会の活動に関わる庶務を幅広く行っており、全代会の円滑な活動を目的として、以下の活動を行ってきた。

- ・ 会議や委員会活動を行うための教室申請
- ・ 本会議等の準備
- ・ および議事録の作成
- ・ 物品の申請・管理、会計業務

以前の総務委員会では、これらの業務が一部の委員に集中してしまうという問題点があったため、昨年からこれらを部門ごとに分け、役割分担を行った。この運用を今年度も引き続き行い、一定の効果があったものと考えている。ただ、このような運用方法の欠点として、独立しすぎて情報共有が円滑でなかったことが挙げられ、このバランスを保つことが今後の課題である。

秋以降、新型コロナウイルス感染症の拡大状況がある程度落ち着いたこともあって、全代会活動がオンラインから対面・オンラインのハイブリッド、原則対面と開催方法が遷移している。これに伴って、会議準備の内容も変化してきている。変化への対応が手探りのなかで、ハイブリッド開催の際の記録方法、準備などで混乱が生じたことがあった。今後の改善課題である。

## 総務委員会（情報）

委員長 高尾 創介（情報科学類2年）

### 2021年上半期総評

総務委員会情報部門は、全代会のコンピュータやネットワークの管理を主に行っている。日常的な活動は以下の通り。

- ・ 全代会室のPC管理（資料保管用のworks含む）
- ・ 全代会室のネットワーク管理
- ・ 全代会ホームページの管理（本会議の資料アップロードなど）

今期の特筆すべき活動を2つ述べる。一つは全代会ネットワークのwifiルータの新調であり、これまでの劣悪な通信速度を改善した。もう一つはホームページのリニューアルであり、こちらは部門内の担当が鋭意制作している。

今期の反省点としては、ミーティングを開かなかったことである。これまでも情報部門のミーティングは決して多くなかったが、このように交流が少ない状況では部門内の交流、ひいては引き継ぎに支障をきたす。そのため、現在では隔週のミーティングを行うようにしている。

## 学内行事委員会

委員長 田中萌鈴（物理学類2年）

### 2021年度上半期総評

2021年度の学内行事委員会は、「学生組織間の連携強化」、「委員会内での情報共有の充実化」を活動方針としている。学生組織間の連携強化のために第一回学生組織連絡会を開催し、学園祭実行委員会、スポーツ・デー学生委員会、宿舎祭実行委員会等の学生組織の代表者を招いて情報の共有と意見の交換を図った。また、委員会内での情報共有の充実化のためにMicrosoft Teamsにて情報共有を行っている。今後も各担当での連絡を取り合う回数を増やすなど連携の強化に努めていきたい。

### 各団体に対する活動に対する進捗状況

#### 学園祭実行委員会

学園祭実行計画書や学園祭実行計画書追加提出分の審議、その他必要に応じて話し合いを行った。2021年度は例年より頻繁に情報共有を行うことで学園祭実行委員会との意思疎通の円滑化に努めた。意見聴取会・本会議での審議をスムーズに行うことができた。

#### スポーツ・デー学生委員会

スポーツ・デー運営委員会の会議に出席し、スポーツ・デー実行計画書の審議を行った。

#### 学生財務会議

学生財務会議に出席し、課外活動団体の援助金申請に関する審議や学類新歓援助金等の全代会からの援助金申請などを行った。

#### 課外活動団体会議

課外活動団体会議（通称、三系会議）に意見参考人として出席し、課外活動団体である文化系サークル連合会・芸術系サークル連合会・体育会との問題共有を図った。また、必要に応じて全代会からの議題を挙げた。

#### 学生組織連絡会

例年、各学生組織が情報共有・意見交換を行う場として学生組織連絡会を開催しており、2021年度は2回開催する予定である。7月に行った第一回学生組織連絡会では各組織の活動報告や問題点の共有が行なわれた。1月に行う予定である第二回学生組織連絡会では、来年度の各組織の代表者も招き、来年度以降の学生組織間の連携強化を目指す。

## 教育環境委員会

委員長：渡邊由貴（国際総合学類2年）

### 2021年度上半期総評

教育環境委員会は、全学的な教育環境に関する問題を検討、解決していくことを役割としている。学生から届いた意見を委員会内で共有し、より多くの学生の声が大学側に伝えられるような方法を模索する。

#### 【2021年活動内容】

- ・「授業形態に関するアンケート」を踏まえた今後の大学生活についての話し合い
- ・一年次必修科目についての検討
- ・TWINS、manabaなど教育情報ツールについての検討
- ・教育生活環境調査に届いた学生の意見への対応

### ○TWINSの機能に関する改善点（案）

教育環境委員会内で出た意見について以下に記す。

#### 【提案1】 掲示板が更新された際に通知が来るように設定できる機能の追加

現在のTWINSは、掲示板が更新されても通知が来ない。資格取得のための授業についての掲示は非常に重要であり、資格取得を目指している学生にとってそれらの情報を見落とすことは許されない。そのほかにも卒業単位についてのお知らせや卒業論文についてのお知らせなど、単位取得や進路に大きくかわる情報がサイレントに更新されている状態であり毎日確認していないと見落とす可能性が高い。

そこで、TWINSの掲示板が更新された時点で、学生に通知が届くような機能を追加することを提案する。掲示板にはセクションがいくつか存在しているが、通知が来るように設定できるセクションを選ぶことができると、学生も現状よりも容易に自分に必要な情報を得ることができると考えられる。教職関係の集中の授業の情報など資格取得に関する情報が更新された際に通知が来るようにしてほしいとの要望が教職をとっている学生から多く上がった。

#### 【提案2】 事前登録科目に関連する表示・通知

事前登録科目の履修が決定するまでの間、「成績」画面の「成績要約」の「履修単位数」には抽選当落が確定していない事前登録科目の単位数は含まれていない。事前登録科目が抽選で当たった場合の単位が含まれている場合の履修単位数が追加されて表示されると、履修計画を立てる際に学生にとって役立つと考えられる。それに加え、事前登録科目の当落結果が学生側に通知されると、履修登録期間中の学生にとってTWINSが使いやすいツールとなると予想される。

**【提案3】 「成績」画面での卒業単位として認められる単位数の表示**

現在の「成績」画面では、「履修単位数」、「修得単位数」、「GPA」、「認定単位数」が存在しているが、卒業単位をカウントする表示は存在していない。TWINS上で卒業単位が自動的にカウントされ表示されれば、学生も履修を考える際に参考にできる上に支援室の職員の方にとっても一人ひとり卒業単位をカウントする作業が減り効率的であると考えられる。

**【提案4】 「成績」画面での科目区分による色分け表示**

「成績」画面の成績一覧において、科目区分により科目が色分けされていると視覚的にわかりやすく、学生が履修計画を立てる際、単位をカウントしやすいのではないかとの意見が上がった。

**【提案5】 カレンダー機能について**

現在のTWINSのカレンダー上には、集中講義についての情報が反映されていない場合がある。また、カレンダーには「授業の実施曜日の振替については、必ず学年暦を確認してください」と記載されているが、学年歴の情報（例えば水曜授業やテスト期間など）もTWINS上で参照することが可能になれば、TWINSの利便性が向上すると考えられる。

**【提案6】 授業評価アンケートについて**

授業評価アンケートがTWINSで行われているが、manaba上で授業評価アンケートに回答できるようにすることやTWINSとmanabaを連携させて両者間の移動をスムーズにすることが可能になれば回答率が上がるのではないかと考えられる。TWINSとmanabaで情報が分散されているため授業評価アンケートに学生が回答しにくいのではないかとの意見が上がった。

## 生活環境委員会

委員長 國分 潤(工学システム学類2年)

### 2021年度上半期総評

生活環境委員会は、前年度に引き続き、教育生活環境調査という学群生向けの常設のアンケートなどを通じて全代会に寄せられた学群生の大学への意見・要望を参考に、主な活動として以下のことを行っている。

- ・ 学生生活課とそれを通じた各組織や、エリア支援室、クラス代表者会議への、問題の問い合わせや対策の依頼
- ・ 上の結果の、回答者の学生への連絡や、全代会ホームページへのQ&A形式での掲載
- ・ 一部では、調査委員会による臨時アンケートなどの調査や本会議の通過を経た、大学への要望書の提出

今年度の活動には、前年度から引き続いて対応している問題も含まれるものの、活発に行うことが出来ていると思われる。一方で、委員会内の負担の偏重が、今後改善すべき課題として挙げられる。

### 要望書について

今年度に入ってから、以下の2つを提出した。

- ・ 『学内の路面の破損および電灯の不足等の改善要望』
- ・ 『学内で食事を提供する事業者に対するアレルギー表示の改善・実施の要望』

それらの効果として、前者については、掲載箇所のうち一部の路面での改修工事を、後者については、一部の事業者による表示の改善・実施を確認している。今後は、学生宿舎に関して、以下についての改善の要望書をそれぞれ提出する予定である。

- ・ 『学生宿舎ネットワークシステムについての要望』
- ・ 『暖房運用および暖房器具持ち込みの要望』

### 全代会が行うアンケートの回答の改善に向けた取り組み

前年度、回答数が少なかったり学群に偏りがあった事を受け、議長団や他の委員会と協力して、以下の改善策を実施した。

- ・ 教育生活環境調査の定期的な頒布(今後も継続する予定)
- ・ 総務委員会情報部門と協力した、アクセスを大学構成員に制限出来るMicrosoft Swayというサービスを用いた、学群生向けのアンケート掲載ページの作成
- ・ 広報委員会と協力した、学内に掲示およびインターネット上に掲載する、教育生活環境調査のポスターの作成(今後掲載する予定)
- ・ クラス代表者会議議長懇談会においての、アンケート頒布に対する協力の呼びかけ

## 調査委員会

委員長 笠嶋梨緒（地球学類2年）

### 2021年上半期総評

調査委員会は学生や大学に関わる諸問題を抽出し、事実関係の調査を行って全代会の活動起点とする委員会である。

今年度も昨年度から引き続きオンラインを中心に活動している。基本的には教育環境委員会と生活環境委員会に教育生活環境調査の内容を確認してもらい、追加調査が必要な案件を依頼として受ける形をとっている。上半期は生活環境委員会からの依頼が多く、宿舎や福利厚生に関するアンケートを実施した。本年度の仕事量は全体的に妥当であると考えているが、急を要する仕事が多く、体感としては実際の仕事量以上に忙しい。

懸念事項としては、実地調査に出向くことが少ないことが挙げられる。学生の学内への立ち入りが少ない以上仕方がないが、昨年度も実施が少なかったこともありノウハウの継承に苦心している。

### 活動の進捗状況

#### 1. 教育生活環境調査

教育環境委員会、生活環境委員会より依頼を受け実施している。全学群生を対象に、通年で身の回りの問題点を回答するアンケートである。本調査に寄せられた意見を起点に大学環境改善のための諸活動を行うことを目的としている。

#### 2. 春学期の授業形態に関する調査

教育環境委員会より依頼を受け、令和三年度春学期の授業の現状について調査を行った。手段として、全学群生を対象としたアンケートを用いた。

#### 3. 学生宿舎の暖房に関する調査

生活環境委員会より依頼を受け、学生宿舎の暖房の運転状況をはじめとした現状把握のための調査を行った。手段として、昨年度宿舎居住者を対象としたアンケートを用いた。

#### 4. 学生宿舎のインターネット環境に関する調査

生活環境委員会より依頼を受け、学生宿舎のWi-Fi環境の現状把握のための調査を行った。手段として、今年度宿舎居住者を対象としたアンケートを用いた。

#### 5. シラバス公開に関する調査

議長団より依頼を受け、KdBに準拠しないシラバスの公開の必要性を把握する調査を行った。手段として、全学群生を対象としたアンケートを用いた。

#### 6. 福利厚生事業者に関するアンケート

生活環境委員会より依頼を受け、学内の福利厚生事業者に対する学生からの意見を得るための調査を行った。手段として、全学群生を対象としたアンケートを用いた。

7. 留学生を対象としたサークル新歓事業の改善調査

学内行事委員会より依頼を受け、留学生を対象としたサークル新歓事業の改善調査を行った。手段として、留学生を対象としたアンケートを用いた。

8. 全代会内部調査

全代会の会議・委員会の出席率と会議・委員会の運営に関する問題の現状把握・対策を行うため、全代会構成員を対象に会議・委員会の参加状況と、会議・委員会の運営の現状における問題点、それらに関する意見などを調査した。手段として全代会構成員を対象としたアンケートを用いた。

## 広報委員会

委員長 佐藤 翔哉（物理学類2年）

### 2021年度上半期総評

広報委員会は全代会及びその活動の広報と、学生にとって有益な情報の発信を役割とする。2021年度上半期は、全代会の広報誌「Campus」を計3号(オンライン号, 224号, 225号)制作した。

また、Twitterを用いた広報活動の幅を広げた。生活課からの広報依頼も受けるようにし、全代会がより身近な存在に感じられるようにツイート内容を増やした。さらに、他の委員会や議長団と連携し、教育生活環境調査や本副学長懇談会のオンライン参加者募集のポスターを制作した。

### 活動の進捗状況

#### 全代会の広報誌『Campus』の特集一覧

(2021年4月1月～12月1日現在)

通常号

- オンライン号（6月発行）
  - ◇ 時をかけるつくば ～学びの都に迫る～
  - ◇ 食糧支援事業の裏側
- Campus224号（10月1日発行）
  - ◇ 学内行事特集 ～祭りとその後 -Rising after the Fall-
  - ◇ 情報メディア創成学類 ～現代社会にMUSTなMAST～
  - ◇ 2021年度の全代会
  - ◇ 全代会活動報告
- Campus225号（1月発行予定）
  - ◇ その道を究める
  - ◇ 教育の総本山
  - ◇ 全代会活動報告
- Campus226号（4月発行予定）

## 新入生歓迎特別委員会

委員長：三好 真生（日本語・日本文化学類2年）

### 2021年上半期総評

新入生歓迎特別委員会は令和三年度第二回本会議（令和三年6月2日）にて設立された。学内における新入生歓迎時期特有の諸問題に関して対処することや、各学群・学類等の新入生の歓迎に際して確実かつ統一された情報の提供を行うことを目的として活動している。

Microsoft Teamsのスレッド機能を用いた連絡と、不定期に開催するオンラインミーティングを中心に活動しているが、委員同士が交流する機会が減少し関係が希薄化することで業務遂行にあたっての連携に影響が及ぶ可能性を考慮し、今後、感染症流行の状況によって活動形態の変更を検討する。

上半期は、新入生歓迎特別委員会設立の報告と、学生組織の構成員選出の形態に関する話し合いを主に行った。今後は、新入生歓迎ネットワーク（新歓ネット）の開催、五者面談の開催、宿舎入居に際する支援、留学生に対する新入生歓迎行事に合わせた学生組織の新入生歓迎活動の支援の検討等を行っていく。

活動時期は、令和三年6月から令和四年5月を予定しているが、活動の状況によって期間が変更される可能性がある。

### 活動の進捗状況

#### 1. 新入生歓迎ネットワーク（新歓ネット）

学生組織と各学群・学類等の新歓団体の代表者を集め、新歓団体への情報提供を図る場である。今年度はオンラインで1回実施し、資料作成締め切りを12月21日として準備を進めている。

実施時期：1月第一週

参加者（予定）：全代会新入生歓迎特別委員会、全代会学内行事委員会財務担当、学園祭実行委員会新歓担当者、スポーツ・デー学生委員会新歓担当者、宿舎祭実行委員会新歓担当者、全代会新歓担当者、各学類等新歓団体代表者

実施内容（予定）：新入生歓迎特別委員会活動説明、新入生歓迎ネットワーク説明、五者面談活動説明、宿舎入居活動説明、紫峰会基金新歓援助金説明、新特委LINE公式アカウント説明、アンケート配布、諸連絡

#### 2. 五者面談

全代会、学園祭実行委員会、スポーツ・デー学生委員会、宿舎祭実行委員会の担当者と各学群・学類等に新歓団体の代表者が打ち合わせを行う場である。新歓オリエンテーションにおいて学生組織説明が確実に行われるように調整を行うことが主な内容である。

学生組織新歓担当者は対面参加、学類新歓代表者はオンラインでの参加を予定しており、2月後半から3月第一週の実施を目指して準備を進めている。

3. 宿舎入居

一斉宿舎入居での手伝いを予定しているが、感染症の流行の状況によらず活動内容の変更を検討している。

4. 留学生に向けた新歓活動（学生組織）

新入生歓迎特別委員会では例年春の新歓活動のみの活動支援をしていたが、令和四年度入学の留学生に対して、学生組織説明等の新歓活動を行うことを目指し、委員会内で話し合いを進めている。

上記の内容は全て今後必要に応じて変更される場合がある。

## 連絡先

Tel 029-853-2319

Mail [zdk@stb.tsukuba.ac.jp](mailto:zdk@stb.tsukuba.ac.jp)

Web <https://www.stb.tsukuba.ac.jp/~zdk/home/>

Twitter [https://twitter.com/public\\_zdk?lang=ja](https://twitter.com/public_zdk?lang=ja)

活動場所：全代会室（共同利用棟D-103）

本報告資料の内容や、学生生活の問題・クラス代表者会議の活動に関して質問・提案などがありましたら、ぜひこちらの連絡先までご一報くださいますようお願いいたします。